



さいたま市立大宮南中学校

わかとり

学校教育目標

輝く個性 夢きらり

学校だより 3月号

令和8年2月27日(金)発行

〒330-0834

さいたま市大宮区天沼町2-362

TEL 641-1142 FAX 641-5356

感謝

校長 亀井 隆司

『一月往ぬる二月逃げる三月去る』の慣用句から、『一月は行く、二月は逃げる、三月は去る』と言われてい
ます。まさにその通り、気が付けば2026年がスタートしてから二月が^{ふたつき}経ち、今年度も残すところ1か月とな
りました。学校では今年度の締めくくりとともに新年度に向けて様々な活動をしっかりと取り組んでまいりま
す。

さて、先日まで、イタリアのミラノとコルティナダンペッツォで第25回の冬季オリンピックが開催されてい
ました。日本との時差が8時間あり、なかなか生中継で視聴することが難しかったですが、現地から届けられた
映像を見ると日本選手団の素晴らしい成績、またそれぞれの種目の魅力が伝わってきました。特に今大会では若
手の選手たちの活躍が目覚ましく、若い力が躍動する姿に目を奪われました。またその若手を支えるようにベテ
ランの選手たちの活躍が見られたのも嬉しい限りです。その中でメダルを手にした選手や競技を終えた選手た
ちへのインタビューにも大変心を打たれるものがありました。

ノルディックスキー・ジャンプ女子個人ラージヒルに出場した伊藤有希選手

「メダルを獲ることはできなかつたですけど、今まで私がさせていただいた経験と、携わってくださ
った方々が、私にとっても金メダル以上に大切なものだって感じました。」「私の幼い頃からの夢である『オ
リンピックで金メダルを獲る』っていう夢は達成できたんじゃないかなって思います。」

ノルディックスキー・ジャンプ混合団体に出場した高梨沙羅選手

「自分のジャンプができたのは自分だけの力ではなく、周りの人たちの支えがあったから。メダルをと
らせてもらい感動した。」

スノーボード男子ハーフパイプに出場した戸塚優斗選手

「いろんな方に支えられてここまで来た。感謝のお返しがこの金メダルになった。」

数多くの選手たちがこれまで自身を支えてくれたチームスタッフやチームメイト、応援してくれた人々や家
族に対する「感謝の言葉」を述べていました。「今の自分があるのは自分だけの力ではない」「支えてくれた方々
のおかげで力を発揮できた」という思いが多くの選手たちの心にあつたのでしょうか。オリンピックに出場できる
ほどの選手になるためには自身の努力はもちろんですが、スポンサーからのバックアップ、これまで関わってき
た指導者、練習環境を整えてくれた協会や家族、応援してくれる人々などの力がたくさんあつたのだと思いま
す。また、それら数えきれないほどの方々への感謝の気持ちがあつたからこそ成長し、大舞台で活躍できる選手
になつたのではないかと感じます。人は決して一人の力で成長することも成功することもありません。南中生の
皆さんにも今の自分があるのは、お家の方々からの応援や協力、地域を含めた周りの人たちからの支えがあつて
のことだという感謝の気持ちをもって、これからの成長につなげてもらいたいと願っています。

卒業式に向けて

3月13日(金)本校77回目の卒業式を行います。3年生にとっては9年間の義務教育の締めくくりとなり
ます。卒業までの学校生活を大切に過ごすとともに、これまでを振り返り、ご家族をはじめ今までお世話になつ
た多くの方々への感謝の気持ちを大切に卒業式を迎えてもらいたいと思います。

卒業生の保護者の皆様におかれましてはお忙しい中とは存じますが、ご列席いただき一緒に卒業生の門出を
お祝いできれば幸いです。